

Digital Life の歩き方

暑い夏も終わりを告げ、夕暮れとともに虫の音が響くようになってきました。今年の夏は例年になく雨が多かったので、実りの秋に向けてどのような影響が出るのか心配になってきます。

さて、本号第 29 号の巻頭言では、情報メディア教育研究部門長の柴山教授より、情報システムでは避けがたい「失敗」と、あらかじめそのような失敗を想定することの重要性について述べられています。

【サービス】では、情報基盤センターで提供しているソフトウェアライセンスのご案内と、前号に引き続いて、今年度からサービスを開始した ECCS クラウドメールアドレスを利用した G Suite アプリについて紹介しています。

【お知らせ】では、新たに導入される設備や仕組みに関するご案内を掲載しています。本号では、次期学習管理システムに向けた、学習管理システム「ITC-LMS」に関するアンケートについてのお願いの記事が掲載されています。

【報告】では、ISC17 の参加報告が掲載されています。ISC17 では情報基盤センターも筑波大学計算科学研究センターと共同でブース展示を行っており、Top500 や Green500 などのランキングについても紹介されています。また、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点に関する 2 点の記事を掲載しています。これは当センターが中核拠点として構成されている 8 大学による共同利用・共同研究拠点であり、研究課題の公募を行って共同研究を行っています。これらの研究成果報告も兼ねた第 9 回シンポジウムが開催され、その報告が掲載されています。また、今年度の採択課題も掲載されています。

【その他】では、連載記事「現場の声」第 5 回を掲載しました。壊れなければいつまでも使えると考えがちな PC ですが、適切な管理ができる「賞味期限」も考慮する必要があります。同じく連載記事の「教育用計算機システム (ECCS) 相談員の声」にも掲載しています。また、今年度も多くの教職員の異動がありました。今回は 14 名の新任教職員紹介を掲載しています。

巻末には毎号同様、情報基盤センターが行っている業務サービスに関する問い合わせ先一覧を掲載しています。是非、センターへのお問い合わせの際にご活用ください。

(編集長 埜 敏博)